

Tomonaga

友枝雄人

# 朝長

Takehito Tomoeda

狂言  
Hinosake  
樋の酒  
野村万蔵  
Manzo Nomura

能  
Tomonaga  
朝長  
友枝雄人  
Takehito Tomoeda



Noh GOUNKAI  
五蘊会

2024年8月31日(土) 午後1時開演 (午後12時開場)

会場：セルリアンタワー能楽堂 東京都渋谷区桜丘町26番1号 B2F

お問い合わせ 友枝雄人事務局 03-5950-4543 <https://tomoeda-kai.com>

お申込はこちら





Noh GOUNKAI

# 五蘊会

【日時】二〇二四年八月三十一日(土)  
午後二時開演(午後十二時開場)  
【会場】セルリアンタワー能楽堂

## 〔狂言〕樋の酒

シテ(太郎冠者) 野村 万蔵  
アド(主) 河野 佑紀  
小アド(次郎冠者) 野村 万之丞

後見 野村 拳之介

## (休憩二十分)

後シテ(朝長) 友枝 雄人  
前シテ(宿の長者)

## 〔能〕朝長

ワキ(旅僧) 宝生 欣哉  
ワキツレ(従者) 御厨 誠吾  
ワキツレ(従者) 小林 克都  
大鼓 國川 純 太鼓 小寺 真佐人  
小鼓 成田 達志 笛 一噌 隆之

間(長者の下人) 野村 万蔵

後見 中村 邦生  
狩野 了一

地謡 佐藤 寛泰 金子 敬一郎  
佐々木 多門 香川 靖嗣  
内田 成信 友枝 昭世  
友枝 真也 大村 定

〔終了予定時刻 午後二時三十分頃〕

### 「樋の酒」

主人に用事があつて出かけねばならぬが、留守にする。太郎冠者、次郎冠者はさうと二人して酒を飲む。主人は計を案じて、太郎冠者は米蔵を、次郎冠者は酒蔵の留守番を命じる。主人を見送った後に太郎冠者がかゝ気が付くと、次郎冠者は酒を盗み飲みしている。自分も何としても飲みたい。太郎冠者の考え付いたのは、持ち場を離れず、窓に竹の樋を渡して酒を流して飲むという方法。これが普段の酒とは異なり別して美味い。二人の酔った様子、その後は如何に帰つて来た主人とのやりとりは…。

### 「朝長」

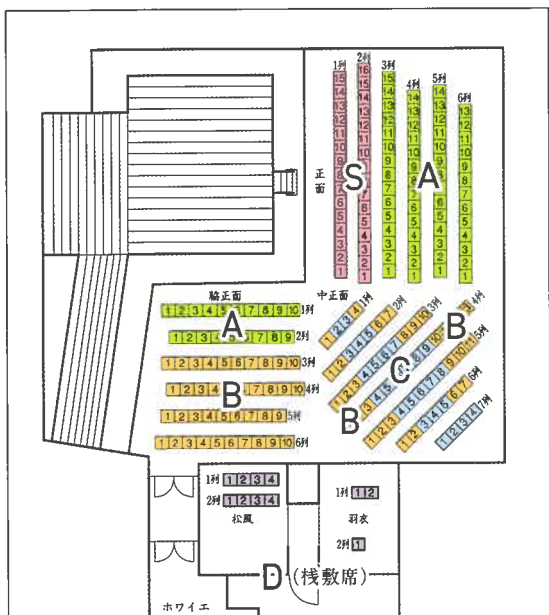
自害をとげた朝長を弔うため、その乳母子の僧は美濃の青墓の宿に向かう。青野ヶ原の朝長の墓所では、宿の長(女主人)が涙を流しながら回向しており、僧と共に朝長の死を悼む。僧の某は主従三世の契り、青墓の宿の長は男女の二世の契り、そして墓の朝長、縁の繋がつた関係の中で、弔う者もまた弔われる。

長が語る朝長の最期の有様は、去年の年の暮れ、夜中にあらけなく門を叩く音がする。やがて来たのは源義朝、朝長親子、鎌田殿、金王丸。戦に敗れ、の宿を頼つて落ち延びて来たのである。夜が明けたら尾張の野間の内海に向かう由、朝長は都の大崩れで膝を敵の矢に深く射られ、歩行困難である。その夜更け、南無阿弥陀仏の声か聞え、鎌田殿が駆けつけると、朝長は腹を切り肌着が紅に染まっている。義朝が聞けば、雑兵の手にかかるよりも死を選んだとの答え。暇を乞うと言つて切れた。父も鎌田もとりついで歎くさまは哀れの極み。話を聞いた僧は青墓の宿にもどり、観音懺法の仏事を行った。

その説経と初夜の鐘の中、朝長の霊が現れる。かつては源平並んで朝家を守っていたのに、保元平治の世の乱れとともに源家は衰退の道を歩む。長男義平は生け捕られ処刑される。三男頼朝も捕縛され都に連行される。父の義朝は野間の内海に向かったが謀叛にあつて殺害された。中でこの宿の長のみが、ひとり女ながら今も、こうして菩提を弔つてくれる。修羅道に堕ちた朝長は自らの最期を賭しつつ乳母子の僧と宿の長の弔いに感謝を捧げる。

### ◎ 料金 ◎

S席 10,000円 / A席 8,000円 / B席 7,000円  
C席 6,000円 / D席(桟敷席) 4,000円



### ◎ チケットお申し込み・お問い合わせ ◎

チケット販売開始日 2024年6月2日(日) 11:00 ~

- 友枝雄人事務局 03-5950-4543 <https://tomoeda-kai.com>
- Confetti(カンフェティ) <https://confetti-web.com>



### セルリアンタワー 能楽堂

〒150-8512  
東京都渋谷区桜丘町26番1号 B2F  
TEL: 03-3477-6412  
FAX: 03-3477-0190

● 電車: 東急東横線・田園都市線、JR山手線・埼京線、東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線、京王井の頭線の渋谷駅より徒歩5分

※開演中の写真撮影及び録音は、固くお断り致します。  
※その他やむをえない事情で出演者が変更になる場合があります。

